

1 調査名称： (名古屋市) 中京都市圏総合都市交通体系調査

2 調査主体：中京都市圏総合都市交通計画協議会
(国土交通省中部地方整備局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市)

3 調査圏域：中京都市圏
愛知県、岐阜県南部、三重県北部

4 調査期間：令和元年度～令和5年度

5 調査概要：

中京都市圏総合都市交通計画協議会では、「人」の動きを調査するパーソントリップ調査（以下「PT調査」という。）について、昭和46年、昭和56年、平成3年、平成13年、平成23年の5回、「物」とそれに関連する貨物自動車の動きを調査する物資流動調査について、昭和51年、昭和61年、平成8年、平成19年、平成28年の5回実施している。

また、調査によって得られた定量的なデータに基づく分析及び将来予測等を実施し、中京都市圏が今後直面すると考えられる都市交通課題やその対応等に関する方向性や施策を提案してきたところである。

最近の中京都市圏の社会情勢をみると、高速道路網及び鉄道ネットワークの整備が進められ、人や物の動きが大きく変化しているところであり、さらにリニア中央新幹線の開業を控えている。また、人口減少・超高齢社会の到来、環境・防災意識の高まり、高度情報化やグローバル化の進展など、社会構造の大きな転換期を迎えている。

6回目となる中京都市圏PT調査は、令和3年度の実施を予定しており、これまでと同様に都市交通の現況を把握するとともに、将来の動向を踏まえて、望ましい交通体系のあり方について検討するものである。

I 調査概要

1 調査名称 中京都市圏総合都市交通体系調査

2 報告書目次

序章 調査概要

序-1 目的

序-2 業務概要

序-3 業務フロー

第1章 事前調査の準備

1-1 事前調査の全体計画

1-2 調査対象者の抽出及び名簿作成

1-3 調査票等の作成

第2章 事前調査の実施

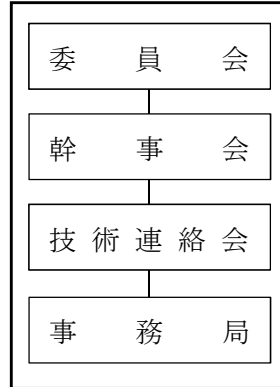
2-1 調査票等の配布及び回収

2-2 調査対象者からの問合せ対応

2-3 データ整備

3 調査体制

中京都市圏総合都市交通計画協議会



4 委員会名簿等：

	所 属	役 職(氏 名)
会 長	中部地方整備局	局 長
顧 問	関西大学 教授	秋山 正孝
	三重大学 教授	朝日 幸代
	中部大学 教授	磯部 友彦
	名古屋大学 教授	中村 英樹
	名古屋工業大学 教授	藤田 素弘
	名城大学 教授	松本 幸正
	名城大学 教授	水尾 衣里
	名古屋大学 教授	森川 高行
委 員	(一社)中部経済連合会	常務理事
	名古屋商工会議所	常務理事・事務局長
	国土交通省都市局	都市計画調査室長
	国土交通省道路局	道路経済調査室長
	中部運輸局	交通政策部長
	大阪航空局中部空港事務所	次長
	中部経済産業局	総務企画部長
	東海農政局	企画調整室長
	愛知県警察本部	交通部長
	中日本高速道路(株)名古屋支社	副支社長
	独立行政法人都市再生機構中部支社	支社長
	名古屋高速道路公社	副理事長
	中部地方整備局	企画部長
	中部地方整備局	建政部長
	中部地方整備局	道路部長
	中部地方整備局	港湾空港部長
	愛知県	都市整備局長
	愛知県	建設局長
	愛知県	政策企画局長
	岐阜県	県土整備部長
	岐阜県	都市建築部長
	岐阜県	商工労働部長
	三重県	県土整備部長
	三重県	地域連携部長
	名古屋市	住宅都市局長
	名古屋市	総務局企画調整監
	名古屋市	緑生土木局長
	名古屋市	交通局長

II 調査成果

1 調査目的

本業務は第6回中京都市圏PT調査の2年目として、令和3年度に予定している本体調査に向けた実施方法の妥当性や回収率等を把握するための事前調査を実施するものである。

2 調査フロー

令和2年度の調査については、以下のフローに基づき行った。

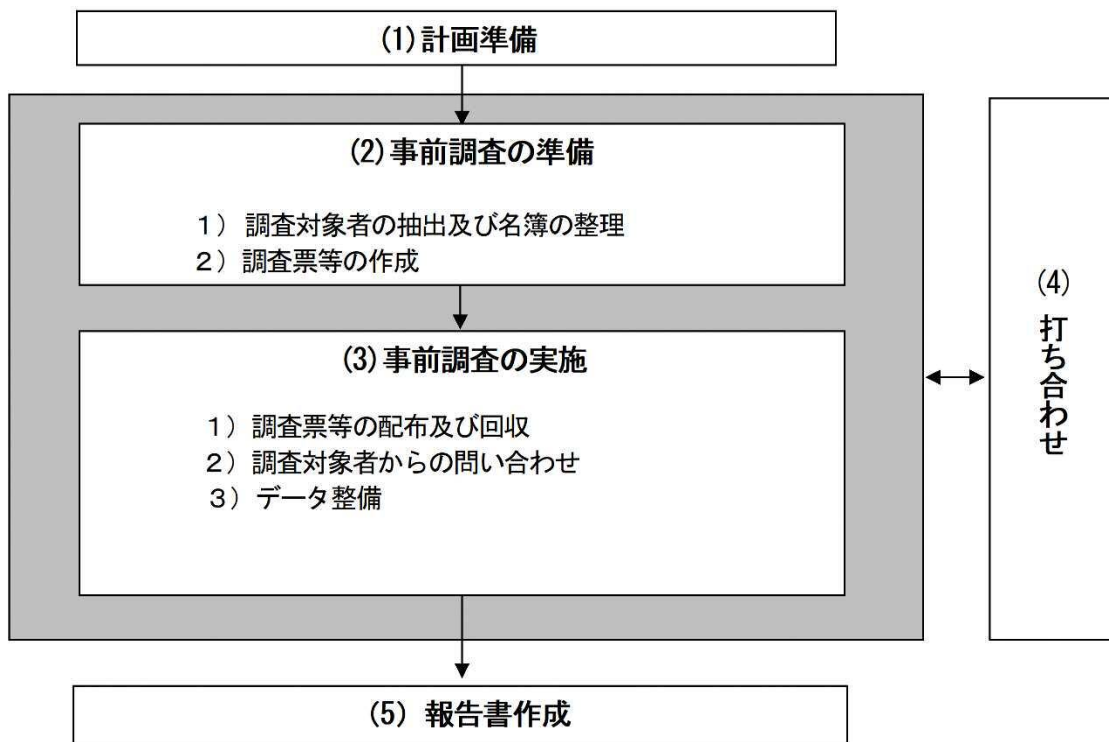


図1 令和2年度の検討フロー

3 調査圏域図

中京都市圏は、愛知県全域、岐阜県南部、三重県北部を圏域とした地域である。

なお、第 6 回調査の対象圏域については、これまでの調査から岐阜県中津川市を追加することとし、計 97 市町村（総人口約 1,014 万人）を対象とする。



図 2 第 6 回中京都市圏 PT 調査の調査対象圏域（案）

4 調査成果

第 1 章 事前調査の準備

事前調査を実施するにあたり、調査対象及び実施規模、スケジュール等の調査全体の計画を検討するとともに、調査対象者の抽出、調査票等、対象者へ配布する物件を作成した。

1-1 事前調査の全体計画

(1) 調査目的

本体調査の実施に向け、以下の検討事項を確認することを目的とした。

- ・ 調査票の回収状況
- ・ 調査項目の記入状況
- ・ オンライン回答比率
- ・ オンライン回答での途中離脱状況

(2) 調査手法

調査手法は以下の通り、郵送による配布、オンライン及び郵送による回収とした。

- ・ 郵送配布のうへ、郵送及びオンライン回答が可能な方式で実施。
 - ・ オンライン回答を促進するため、PCのほかスマートフォンやタブレットでも回答可能。
 - ・ オンライン回答比率を高めるために、「オンライン先行型調査」※を採用
- ※「オンライン先行型調査」の採用により、次のような効果が期待される。
- ・ 取得データの正確性（精度）が向上
 - ・ データ化作業の省力化によるコスト縮減

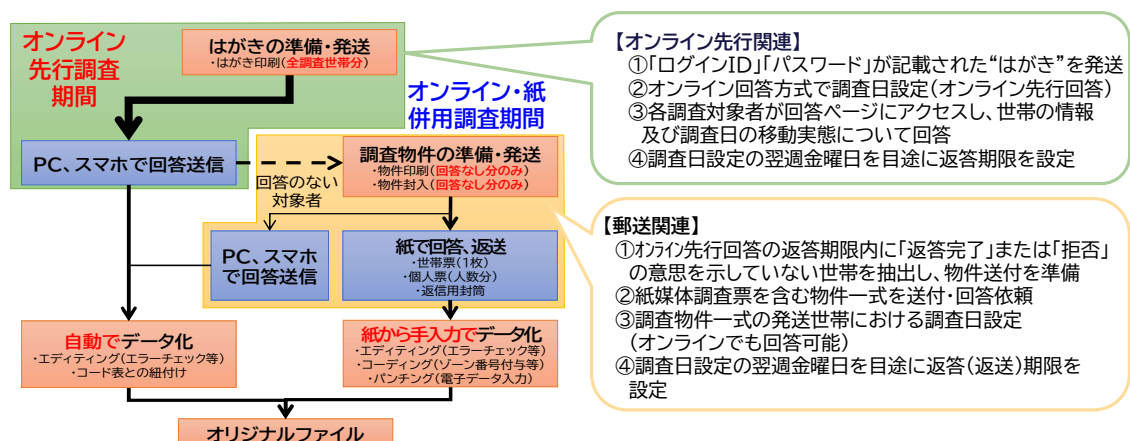


図 3 オンライン先行型調査のフロー

(3) 調査対象及び実施規模

調査対象は、前回調査の回収率や現状の高齢化率等を踏まえ、中京都市圏の傾向を再現できる、中京都市圏（岐阜県南部、愛知県、三重県北勢地域）内の8市区町の居住者（5歳未満を除く）とし、都市圏全体で300世帯からの回収を達成すべく、はがき発送ベースで1,000世帯を対象※とした。名古屋市においては東区、港区を調査対象とした。

対象8市区町は以下の通りである。

- ・愛知県 : 一宮市、幸田町
- ・岐阜県 : 恵那市、海津市
- ・三重県 : 鈴鹿市、東員町
- ・名古屋市 : 東区、港区

※過去の実績（第5回中京（H23）：32%、第6回東京（H30）：28%）等を踏まえ回収率30%と想定した

(4) 実施スケジュール

	オンライン先行調査期間			送付対象者選定・印字封緘期間	併用調査期間		
	発送日	先行調査日	返答期限		発送日	併用調査日	返答期限
第1ロット	10/2	10/7-8	10/18		10/30	11/4-5	11/13
第2ロット	10/9	10/14-15	10/25		11/6	11/11-12	11/20

図4 ロット及び調査日等の設定

1-2 調査対象者の抽出及び名簿作成

住民基本台帳から抽出された調査対象者の情報を基に、調査対象者名簿を作成した。

(1) 調査対象者の抽出

抽出に当たっては、次ページ図に示す、「抽出マニュアル」の作業手順に基づき実施した。

(2) 調査対象者名簿の作成

(1)で抽出した世帯情報について、次のような流れで名簿データを作成した。

- ① 住所・姓名によるソート（並び替え）
- ② 整理番号（10桁）（オンライン回答のログインID）
- ③ 世帯パスワードの付与（8桁）
- ④ 予備世帯の抽出

- ⑤ 発送日区分の付与
- ⑥ 調査対象日の付与
- ⑦ 回答期限の付与
- ⑧ 5歳以上世帯人数（令和2年10月1日現在）の付与
- ⑨ 総世帯人数（5歳未満含む）の付与
- ⑩ 発送差止フラグ（協力拒否の連絡があった場合に付与）

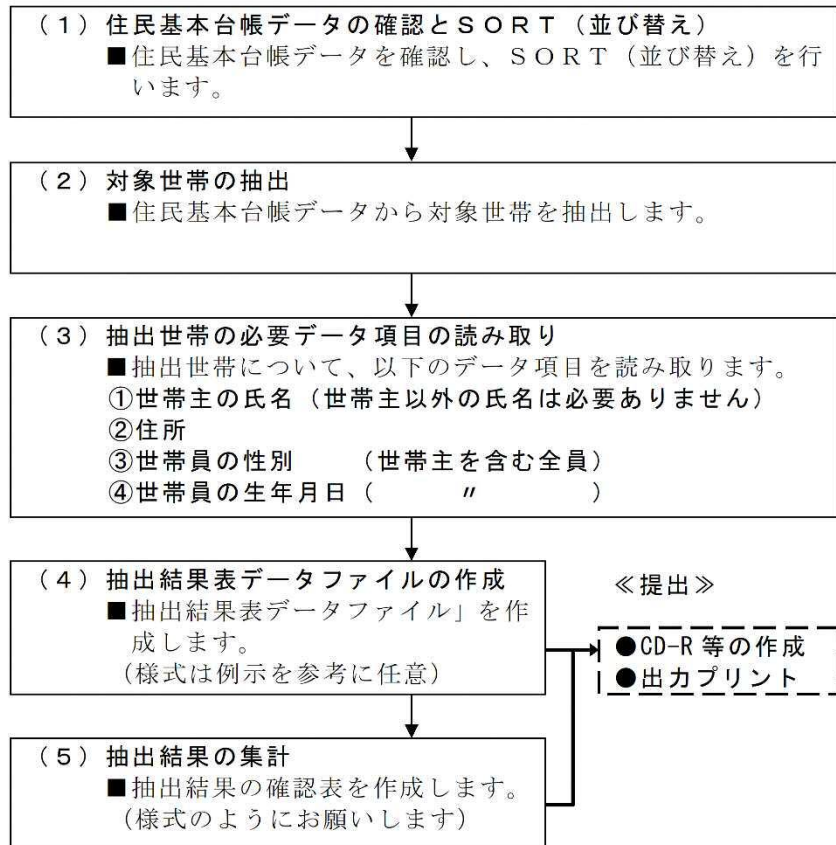


図5 抽出の作業手順

表1 名簿の整理結果

縣市	市区町	世帯数	人口総数
愛知県	一宮市	125	268
	幸田町	125	361
岐阜県	恵那市	125	326
	海津市	125	302
三重県	鈴鹿市	125	306
	東員町	125	333
名古屋市	東区	125	246
	港区	125	262

1-3 調査票等の作成

調査票をはじめ、調査に使用する物件について、下表のものを準備・作成した。

表 2 調査物件一覧

調査物件		内容	注意事項	
発送物件	①はがき (WEB 回答依頼はがき)	インターネットによる回答の推奨を記載したはがき	【世帯ごと】	
	②発送用封筒	世帯別に以下の物件を収納し送付するための封筒で、同封書類の内訳を記載	【共通物件】	
	封入するもの (この順に封入)	調査のご説明	紙面右上に宛名を印字し、調査対象日・回答期限・インターネットのサイトアドレス・整理番号・世帯パスワード・問合せ先の住所、電話番号等を記載した資料	【世帯ごと】
		依頼状 (ご協力をお願い)	調査対象者に本調査の趣旨を示し、協力依頼をお願いした文書	【共通物件】
		世帯票 (調査票)	調査対象者が世帯属性の調査項目を記入する用紙 (世帯人数区分ごとに応じた枚数、6人までは1枚)	【共通物件】 ※
		個人票 (調査票)	調査対象者が行動に関する調査項目を記入する用紙 (5歳以上人数分)	【共通物件】 ※
		記入例 (個人票の記入上の注意点)	個人票 (調査票) の記入方法を説明した資料	【共通物件】
		返信用封筒	記入した調査票を収納し、各縣市、サポートセンター等宛に送付するための封筒 (整理番号等を印字)	【世帯ごと】

※ 世帯ごとに枚数のみ異なる物件

第2章 事前調査の実施

調査対象者にオンライン回答を促す調査依頼の「はがき」を送付し、オンライン回答が得られない場合は、別途、「調査票」を送付した。

また、調査実施期間中は、対象者からの電話による問合せ等に対応するために、業務に従事するオペレーター等を対象に必要な訓練を実施した。

オンラインでの回答及び紙調査票での回収された調査結果を整理した上で、回収率等の回収状況を整理した。

2-1 調査票等の配布及び回収

(1) 発送準備

以下に示すスケジュールを設定し、発送・回収日を設定した。

表3 発送・回収スケジュール

			Web先行 はがき	紙調査票
発送日	○		○	●
調査対象日	↔		↔	↔
返送期限	☆		☆	★

発送日区分	9月			10月																																		
	28 月	29 火	30 水	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土				
第1ロット				○							↔										☆																●	
第2ロット													○				↔																					☆

発送日区分	11月																																				
	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月							
第1ロット					↔								★																								
第2ロット						●						↔									★																

(2) 回収調査票の整理

回収した調査票は、調査実施マニュアルに準じ、次ページに示すフロー図に従い、開封作業及び回収状況の整理を行った。

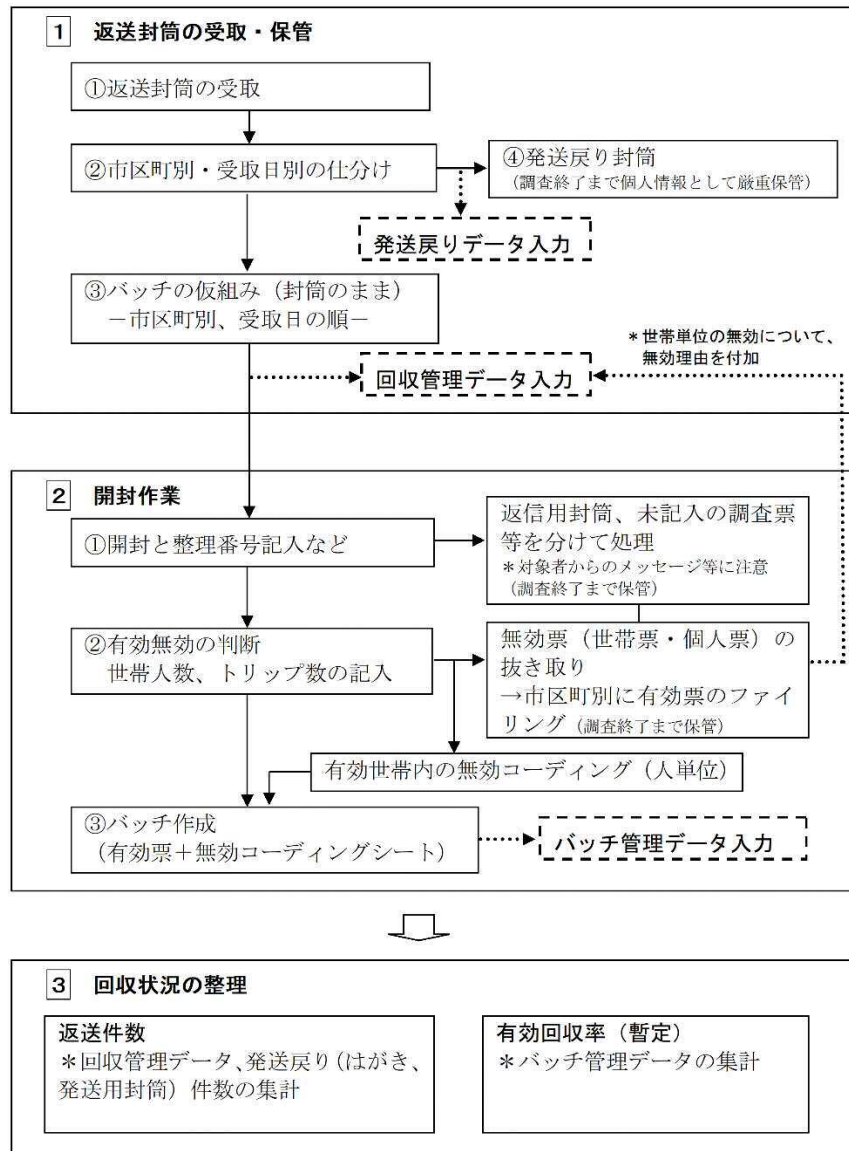


図 6 回収作業の全体工程

2-2 調査対象者からの問合せ対応

(1) サポートセンターの設置

調査対象者からの問い合わせに対する対応や回収調査票の管理等を行うため、「サポートセンター」を設置するとともに、次の点に十分留意して調査を実施した。

- ・ 調査の目的・内容を十分理解して、業務にあたること
- ・ 個人情報の管理に十分配慮すること
- ・ 調査で知り得た個人のプライバシーを絶対他にもらさないこと
- ・ 理解できないことや自分で判断できないことは、管理スタッフ（サポートセンター担当者）に相談し、勝手な判断をしないこと
- ・ 対象者への応対等は、冷静かつ丁寧に臨み、トラブルに発展しないよう努めること

(2) 電話による問い合わせ対応

調査物件が対象者の手元に届いた時点から、本調査に関する問合せがインターネットもしくは電話にてサポートセンター内に入ることとなる。電話対応の記録は、その都度「電話対応メモ」用紙に記入し履歴を残した。その際には、問合せ元へ折り返し連絡が必要な場合と、そうではない場合の2つのケースがあるため、再度連絡の必要がある場合は忘れることの無いように迅速にその処理を行った。

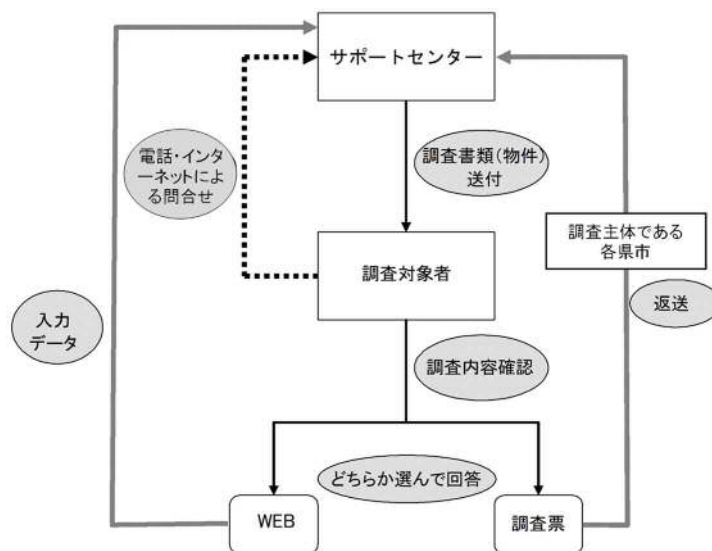


図7 調査期間中の主な流れ

(3) 対応件数・問い合わせ状況

調査期間中、都市圏全体で、行政受けの対応件数は6件、サポートセンター受けの対応件数は21件、Web ページ上での問合せ件数は0件であった。

行政受けは、「調査主体」に関する内容、サポートセンター受けは、「記入方法」や「拒否」に関する内容が多くなった。

表 行政受け電話対応件数

県市コード	県市名	電話件数	電話対応の内容 *複数回答											
			調査全般への質問・苦情					記入方法の質問		8. 拒否	9. その他	10. 紙物件	合計	
			1. 調査主体	2. 目的	3. 強制的なものか	4. 対象者抽出	5. 個人情報保護	6. 調査票記入	7. WEB回答					
1	愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	岐阜県	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
3	三重県	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
4	名古屋市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		6	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7

表 サポートセンター受け電話対応件数

県市コード	県市名	電話件数	電話対応の内容 *複数回答										
			調査全般への質問・苦情					記入方法の質問		8. 拒否	9. その他	10. 紙物件	合計
			1. 調査主体	2. 目的	3. 強制的なものか	4. 対象者抽出	5. 個人情報保護	6. 調査票記入	7. WEB回答				
1	愛知県	4	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	4
2	岐阜県	8	0	2	1	0	0	2	1	3	1	1	11
3	三重県	3	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	4
4	名古屋市	6	0	0	2	1	0	1	1	4	1	0	10
合計		21	0	2	3	2	0	4	3	7	7	1	29

2-3 データ整備

(1) 発送状況

はがきについては、都市圏全体で、10/2（金）に第1ロット分 503 世帯、10/9（金）に第2ロット分 497 世帯に対し、都市圏全体で 1,000 世帯分、発送した。発送したはがきの発送戻りは、都市圏全体で、6 件発生した。

また、紙調査票については、都市圏全体で、10/30（金）に第1ロット分 441 世帯、11/6（金）に第2ロット分 452 世帯に対し、都市圏全体で 893 世帯分、発送した。発送した紙調査票の発送戻りは、都市圏全体で、3 件発生した。

(2) 回収状況

都市圏全体で、第1ロットが 11/13、第2ロットが 11/20 で終了（Web/紙併用回答期間）し、都市圏全体で 33.8%となった。Web 回答及び紙回答の比率は、若干紙比率の方が高くなった。

(3) 回収結果及び回答状況に関するまとめ

事前調査で得られた回収状況や設問ごとの記入状況を整理し、事前調査のまとめ及び課題とともに、本体調査に向けた改善方針を次のように整理した。

1) 回収状況

結果	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏全体での回収率は 33.8%。（参考：H23 第 5 回 PT 調査 32.4%） 複数人世帯の方が回収率が高い一方、単身世帯では若年層（39 歳未満）の回収率が低い。 世帯全員からの回答が得られなかった事例が見受けられる。 																																																																														
課題	<ul style="list-style-type: none"> 回収率の更なる向上（特に、若年層の回収率向上） 世帯全員からの回答確保 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="331 1400 853 1702"> <table border="1"> <caption>図 8 Web/紙回答比率</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>Web回答_先行</th> <th>Web回答_併用</th> <th>紙回答</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>一宮市</td><td>9.6%</td><td>5.6%</td><td>23.2%</td><td>38.4%</td></tr> <tr><td>幸四町</td><td>15.2%</td><td>6.4%</td><td>16.8%</td><td>38.4%</td></tr> <tr><td>豊洲市</td><td>10.4%</td><td>4.8%</td><td>20.8%</td><td>36.0%</td></tr> <tr><td>南津市</td><td>8.8%</td><td>0.8%</td><td>20.0%</td><td>29.6%</td></tr> <tr><td>総瀬市</td><td>12.8%</td><td>4.8%</td><td>20.0%</td><td>37.6%</td></tr> <tr><td>東島町</td><td>12.8%</td><td>10.4%</td><td>16.0%</td><td>39.2%</td></tr> <tr><td>東区</td><td>7.2%</td><td>8.0%</td><td>10.4%</td><td>25.6%</td></tr> <tr><td>湖区</td><td>7.2%</td><td>3.2%</td><td>15.2%</td><td>25.6%</td></tr> <tr><td>都市圏全体</td><td>10.5%</td><td>5.5%</td><td>17.8%</td><td>33.8%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="877 1400 1396 1702"> <table border="1"> <caption>図 9 世帯類型別の回収率</caption> <thead> <tr> <th>世帯類型</th> <th>Web回答</th> <th>紙回答</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世帯 (39歳未満)</td><td>16.2%</td><td>16.2%</td><td>32.4%</td></tr> <tr><td>単身 (40~64歳)</td><td>14.0%</td><td>16.7%</td><td>30.7%</td></tr> <tr><td>単身 (65歳以上)</td><td>4.7%</td><td>23.3%</td><td>28.0%</td></tr> <tr><td>二人世帯</td><td>19.2%</td><td>23.1%</td><td>42.3%</td></tr> <tr><td>三人以上世帯</td><td>18.6%</td><td>15.2%</td><td>33.8%</td></tr> <tr><td>都市圏全体</td><td>16.0%</td><td>17.8%</td><td>33.8%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	区分	Web回答_先行	Web回答_併用	紙回答	合計	一宮市	9.6%	5.6%	23.2%	38.4%	幸四町	15.2%	6.4%	16.8%	38.4%	豊洲市	10.4%	4.8%	20.8%	36.0%	南津市	8.8%	0.8%	20.0%	29.6%	総瀬市	12.8%	4.8%	20.0%	37.6%	東島町	12.8%	10.4%	16.0%	39.2%	東区	7.2%	8.0%	10.4%	25.6%	湖区	7.2%	3.2%	15.2%	25.6%	都市圏全体	10.5%	5.5%	17.8%	33.8%	世帯類型	Web回答	紙回答	合計	世帯 (39歳未満)	16.2%	16.2%	32.4%	単身 (40~64歳)	14.0%	16.7%	30.7%	単身 (65歳以上)	4.7%	23.3%	28.0%	二人世帯	19.2%	23.1%	42.3%	三人以上世帯	18.6%	15.2%	33.8%	都市圏全体	16.0%	17.8%	33.8%
区分	Web回答_先行	Web回答_併用	紙回答	合計																																																																											
一宮市	9.6%	5.6%	23.2%	38.4%																																																																											
幸四町	15.2%	6.4%	16.8%	38.4%																																																																											
豊洲市	10.4%	4.8%	20.8%	36.0%																																																																											
南津市	8.8%	0.8%	20.0%	29.6%																																																																											
総瀬市	12.8%	4.8%	20.0%	37.6%																																																																											
東島町	12.8%	10.4%	16.0%	39.2%																																																																											
東区	7.2%	8.0%	10.4%	25.6%																																																																											
湖区	7.2%	3.2%	15.2%	25.6%																																																																											
都市圏全体	10.5%	5.5%	17.8%	33.8%																																																																											
世帯類型	Web回答	紙回答	合計																																																																												
世帯 (39歳未満)	16.2%	16.2%	32.4%																																																																												
単身 (40~64歳)	14.0%	16.7%	30.7%																																																																												
単身 (65歳以上)	4.7%	23.3%	28.0%																																																																												
二人世帯	19.2%	23.1%	42.3%																																																																												
三人以上世帯	18.6%	15.2%	33.8%																																																																												
都市圏全体	16.0%	17.8%	33.8%																																																																												
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の回収率向上に資する、オンライン回答システム、物件・広報の作成 複数人世帯の回答率向上に資する、複数端末での回答画面共有機能、または世帯内通知・連絡機能（SNS 等を活用し、回答ページを共有できるようにする機能等）の挿入等 																																																																														

2) オンライン回答比率

結果	<ul style="list-style-type: none"> Web 回答の比率は 47.3%。うちスマートフォンによる回答が 63%。(特に、若年層ほどスマートフォン比率が高い) 																																				
課題	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンによる回答促進 																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市区町名</th> <th>Web比率</th> <th>紙比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>一宮市</td><td>39.6%</td><td>60.4%</td></tr> <tr><td>幸田町</td><td>56.3%</td><td>43.7%</td></tr> <tr><td>恵那市</td><td>42.2%</td><td>57.8%</td></tr> <tr><td>海津市</td><td>32.4%</td><td>67.6%</td></tr> <tr><td>鈴鹿市</td><td>46.8%</td><td>53.2%</td></tr> <tr><td>東員町</td><td>59.2%</td><td>40.8%</td></tr> <tr><td>東区</td><td>59.4%</td><td>40.6%</td></tr> <tr><td>港区</td><td>40.6%</td><td>59.4%</td></tr> <tr><td>都市圏全体</td><td>47.3%</td><td>52.7%</td></tr> <tr><td>H23第5回調査</td><td>7.8%</td><td>92.2%</td></tr> <tr><td>H30東京</td><td>45.2%</td><td>54.8%</td></tr> </tbody> </table> <p>図 10 Web/紙回答比率</p>	市区町名	Web比率	紙比率	一宮市	39.6%	60.4%	幸田町	56.3%	43.7%	恵那市	42.2%	57.8%	海津市	32.4%	67.6%	鈴鹿市	46.8%	53.2%	東員町	59.2%	40.8%	東区	59.4%	40.6%	港区	40.6%	59.4%	都市圏全体	47.3%	52.7%	H23第5回調査	7.8%	92.2%	H30東京	45.2%	54.8%
市区町名	Web比率	紙比率																																			
一宮市	39.6%	60.4%																																			
幸田町	56.3%	43.7%																																			
恵那市	42.2%	57.8%																																			
海津市	32.4%	67.6%																																			
鈴鹿市	46.8%	53.2%																																			
東員町	59.2%	40.8%																																			
東区	59.4%	40.6%																																			
港区	40.6%	59.4%																																			
都市圏全体	47.3%	52.7%																																			
H23第5回調査	7.8%	92.2%																																			
H30東京	45.2%	54.8%																																			
	<p>図 11 世帯類型別の回答端末の構成</p>																																				
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを意識した回答システム(画面レイアウト等)の構築 																																				

3) 各項目の記入状況

結果	<ul style="list-style-type: none"> 住所情報をはじめ多くの調査項目で、紙回答よりもオンライン回答の方が未記入率が低下。 紙回答で「目的不明(帰宅トリップの記入漏れと想定)」や、「端末交通手段」欠落が発生。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 紙回答におけるデータ精度の向上(不明データの削減) 対象者限定設問への適切な誘導・回答依頼
	<p>図 12 主要調査項目の未記入率及び紙回答におけるトリップ目的構成</p>
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 紙調査票の主たる回答者である「高齢者」に配慮した調査票レイアウト等の導入 <ul style="list-style-type: none"> * 文字サイズの大型化 記入漏れを防ぐための誘導・強調 <ul style="list-style-type: none"> * 未記入防止のための文章挿入・強調(例:自動車台数関係の「0台」、複数回答設問の「なし」「その他」等) * 対象者限定設問の説明文章を強調 * 帰宅トリップの確認を強調 * 鉄道、バス利用時の前後の交通手段の記入依頼 等 選択肢の見直し検討 <ul style="list-style-type: none"> * 未回答が発生しないよう、選択肢設定を再検討(例:勤務制度、在宅時の活動 等)

4) オンラインの途中離脱状況

結果	<ul style="list-style-type: none"> ・PC よりも、スマートフォンの方が、個人票の回答段階での途中離脱が多く、回答完了比率が低下。 																		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの途中離脱の防止 <div data-bbox="432 439 1286 875" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>図 13 回答端末別にみた調査票の各段階における回答完了率</caption> <thead> <tr> <th>端末</th> <th>世帯票</th> <th>個人票 [1]</th> <th>個人票 [2]</th> <th>個人票 [3]</th> <th>個人票 [4] (任意)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PC</td> <td>100%</td> <td>98%</td> <td>98%</td> <td>96%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>スマートフォン</td> <td>100%</td> <td>98%</td> <td>95%</td> <td>84%</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	端末	世帯票	個人票 [1]	個人票 [2]	個人票 [3]	個人票 [4] (任意)	PC	100%	98%	98%	96%	80%	スマートフォン	100%	98%	95%	84%	53%
端末	世帯票	個人票 [1]	個人票 [2]	個人票 [3]	個人票 [4] (任意)														
PC	100%	98%	98%	96%	80%														
スマートフォン	100%	98%	95%	84%	53%														
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ・よりスマートフォンを意識したオンライン回答システム（画面レイアウト等）への改良 <ul style="list-style-type: none"> * 設問の全体像・回答ボリューム・進捗を確認できる仕組みの実装 * 調査票の入力順序の再検討（目的地を先に入力する方式から、行動ごとに目的地・手段等を入力する方法の併用 など） ・複数人同行動時等への配慮として、「コピー&ペースト機能」を実装 <ul style="list-style-type: none"> * 世帯内の複数人が同行する場合の回答内容の写し * 出勤や通学⇔帰宅の裏返し移動への対応 																		